

年 月 日

大阪府知事 様

開設者住所（法人は主たる事務所所在地）

開設者氏名（法人は名称及び開設者職・氏名）

救急業務協力申出書（新規・更新）

救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）第1条の規定による救急病院等として、救急業務に協力したので、次のとおり申し出ます。

記

1. 医療機関の概要

医療機関名 (略称)	()					開設年月日	
						年 月 日	
所在地	〒					近畿厚生局医療機関コード	
標榜診療科目							
管理者	住所						
	氏名						
許可病床数	計	一般	療養	結核	精神	感染症	
	床	床	床	床	床	床	
所在地を管轄 する関係機関	保健所		医師会		消防本部（局）		
担当者	所属・職				氏名		
	TEL				FAX		
	E-mail						

2. 救急協力体制 ※行が不足する場合は追加可

	救急協力診療科目	病床確保体制		救急医療担当常勤医師（各2名以上）	
		専用病床	優先病床		
固定通年制		床	床		
		床	床		
		床	床		
		床	床		
		床	床		
		床	床		
		床	床		
		床	床		
		床	床		
非通年制 （輪番制）	救急協力診療科目	当番曜日	病床確保体制		救急医療担当常勤医師 （各1名以上）
			専用病床	優先病床	
			床	床	
			床	床	
			床	床	
			床	床	
救急医療に従事する医師の勤務体制 （救急協力診療科目ごとにおける施設内 での待機）		平日昼間	平日夜間		土・日・祝日
		有 ・ 無	有 ・ 無		有 ・ 無

3. 協力医療機関 ※複数の協力医療機関がある場合は追加可

医療機関名	所在地

4. 救急医療情報システム ※精神科のみの医療機関は記載不要

確認事項		回答
救急医療情報システムに参画し、情報入力端末機に、別に府が示すマニュアルに基づき、応需情報・救急搬送患者報告の入力を行うこと		同意する ・ 同意しない
端末機の設置場所		
システム入力担当者	時間内	時間外・休日
運用体制	現在運用中で認定後に変更なし ・ 認定後に運用予定	

5. 施設・設備

精神科以外の診療科目		精神科	
医療設備・機器名	回答	医療設備・機器名	回答
エックス線装置	有 ・ 無	脳波計	有 ・ 無
心電計	有 ・ 無	酸素吸入装置	有 ・ 無
輸血輸液設備	有 ・ 無	吸引装置	有 ・ 無
除細動器	有 ・ 無	血液検査設備	有 ・ 無
酸素吸入装置	有 ・ 無	※ 1 麻酔器…内科系診療科目の場合は必須ではない ※ 2 手術室…外科系診療科目以外の場合は必須ではない	
人工呼吸器	有 ・ 無		
麻酔器 ※ 1	有 ・ 無		
手術室 ※ 2	有 ・ 無		

6. 救急患者搬入経路

付近道路の幅員	最大	m
	最小	m
救急車通行の難易	通行に全く支障がない ・ 通行がやや困難である ・ () m前で通行不可	
救急患者搬入口に 救急車接着の可否	接着可能 ・ () m前で接着不可	
救急車の通行や接着に 問題がある場合の理由		

7. 児童虐待早期発見のための体制

確認事項		回答
A 児童虐待に関する外部機関（児童相談所、市町村等）との連絡窓口を設置している		有 ・ 無
B-1 児童虐待に関する委員会を設置している		有 ・ 無
B-2 児童虐待対応マニュアルを作成している		有 ・ 無
体制整備状況	現在整備済で認定後に変更なし ・ 認定時までには整備予定	

8. 救急医療に関する研修の受講状況 ※申し出の当該年度を含む過去3年度分を記載

主催者	研修会・説明会等の名称	受講（予定）年月日
		年 月 日
		年 月 日
		年 月 日

9. 広域災害救急医療情報システム（EMIS）の活用状況（参考）

確認事項	回答
EMISに医療機関基本情報・施設情報を概ね全項目入力済みである。	はい ・ いいえ
大規模災害発生時に、被災状況入力（緊急時情報・詳細情報）を速やかに実施する体制を整えている。 例：大阪府や保健所等が行う入力訓練への参加、入力方法の院内周知を行っている。	はい ・ いいえ